

認定NPO法人ぐる-ぶ藤

第11回(通算第23回)通常総会議案書

日 時 : 2015年6月7日(日)

10:30~14:00

場 所 : 藤沢商工会館ミナパーク

総 会 次 第

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議長選出

5. 資格審査

6. 議事審議

 第 1 号議案 事業報告

 第 2 号議案 決算報告および監査報告

7. 報告

 事業計画および事業予算

8. 永年勤続表彰

9. 閉 会

はじめに

市民参加の街づくりの活動を始め24年目に入りました。この間一貫して地域福祉にこだわり、藤沢を福祉豊かな街にしたいと願い活動してきました。昨年度は「地域ささえあいセンター」のモデル事業を受託し、私たちの望む街づくりに更に一步駒を進めました。

いよいよ4月から2025年を見据えた介護保険第6期に突入し、要支援1・2の人達を地域で支える制度が始まりました。藤沢市は一年遅れで総合事業を実施する予定だそうです。課題はたくさんあり、元気な高齢者がお互いに助け合う仕組み作りが急がれます。

地域ささえあいセンター“ヨロシク♪まるだい”は開設して半年で1ヶ月の利用者は1300人を数え、近隣のたまり場として認知されてきました。まるだい食堂を中心に様々な相談事業、ミニデイなど参加の場を用意しコミュニティの形成を手助けすると共に障がい者の雇用も行い、子どもも含めた世代間交流の場として定着しつつあります。ここでは可能な限り住み慣れた地域で自分らしく生活するための地域包括ケアシステムを推進すると共に、市民が市民を支える地域体制づくりを意識的に行い、有償ボランティアを中心とした新しいサービスを生み出していきます。

認定NPO法人としての自覚を持ち、地域に住む方の様々なニーズに対応し、人と人を繋げ藤沢らしい助け合いの仕組みづくりを進め、藤沢市に住んで本当によかったと心から言えるような街づくりのため、市民参加の輪を更に広げて行きます。

第 1 号議案

2014年度事業報告

1. 組織運営

福祉マンション「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」は今年も地元藤が岡の地に根づく活動ができました。大勢いる地元のスタッフの様々なご縁からどんぐり園はじめ地元自治会・学童保育・中学校などとの交流が頻繁に行われ休日にはスタッフの子どもたちがボランティアとして来館することなどが定着しています。

ぐるーぷ藤では、ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することを方針として掲げていますが、今年度も多くのスタッフが部門を越えて活躍しました。

今年度はぐるーぷ藤の23年間の地域福祉活動の集大成として、子どもや障がい者を含め誰でもが集える居場所作りを目標として年度初めより準備を進めてきました。8月に市の「藤沢市地域ささえあいセンター運営モデル事業者募集」に応募し提案が採択されたことにより、10月1日藤沢市の委託を受け地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」をオープンさせました。業界紙の「シルバー新報新春号」に特集として掲載されたこともあり全国からの見学が絶えません。

運営については、年4回の理事会で予算をはじめ事業運営に関する重要事項の検討を行い、必要に応じて開催した運営会議で随時新たな課題についての検討を重ねました。内部理事及び各事業部門の代表で構成された部門代表会議を年17回開催し、理事会での決議を踏まえて各事業に関する諸事項の討議を行いました。全会員に対し月1回の運営報告会で運営状況の報告を行い情報の共有を図りました。また部門ごとに会議や担当者ミーティングを持ちそれぞれの課題を話し合うとともに、研修の場となるように努めました。部門の枠をこえた委員会活動やプロジェクトは、さまざまな形で会員が運営に参加する機会になりました。

2. 事業・活動部門

「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」を拠点にして地域に根ざしたさまざまな活動が出来ました。部門間の連携を密にし、ご利用者の多様なニーズにできるだけ柔軟に対応しました。国の法改正で始まる総合事業に先駆け地域のニーズに応えるべく市のモデル事業として、10月に地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」を開設しました。地域の高齢者を中心に誰もが利用でき住民同士で助け合う居場所づくりを提供してきて半年以上経過し、着実に利用者が増えてきました。

また、今年 1 月に藤沢市と災害時における障がい者の緊急受け入れに関する防災協定を結びました。火災・震災等の予防及び安全確保のため防災用品等を購入し備蓄に万全を期しました。一番館における災害時の市民及び要介護者の受け入れ体制についても検討を行いました。

レストラン「オハナ」は、食事の場だけでなく地域の交流の場、憩いの場としても多くの方にご利用いただきました。ぐるーぷ藤のシンボルとしてゆっくりとくつろげる集いの場として定着しました。

2-1 訪問介護事業（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくための心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えました。

今年度は藤の創設から利用されていたご利用者が相次いで逝去されましたが、みなさん最後まで在宅で生活され、その在宅生活をたくさんのヘルパーで支えることが出来ました。またターミナルケアの依頼では2日間だけでしたが、きめ細かい対応をすることができご家族にも安心していただくことができました。

本来事業では「ワンコイン」の子育て支援を1か月から1年に延長して対応したことで、お母さんのリフレッシュする時間、上の子供さん達とかかわる時間等が提供でき、子育て中のお母さんにとっても喜ばれました。また、有料ホームに入所中の高齢者の自宅で過ごしたいという思いに寄り添い家族に代わって対応することや、保険外でも利用者に必要な支援を提供することができました。

介護保険ではご利用者の体調や家族の変化に応じて、藤や他事業所のケアマネジャーと連携を取り、出来る限り対応することができました。高齢で独居の方の依頼が多く、本来事業を組み合わせる状況の変化に応じたその方らしい生活を支えることができました。

障がい者総合支援法では同行援護のサービス提供責任者研修を昨年度に加えて1名が受講し、サービスを提供できる体制を整えました。また精神疾患の方の依頼が多く、ありのままを受け入れることの難しさを感じつつ良い方向に変化していく利用者の姿にホッとした1年でした。児童の行動援護、移動支援では思いを言葉で伝えられない利用者に対して、安全に対応することの難しさを経験した1年でもありました。

事業所加算Ⅱを取得した事業所として関係機関からの困難なケース依頼にも積極的に対応し、多様な利用依頼に出来る限り応える努力を行いました。昨年に引き続き対人援助の基本である訪問介護の介護力アップとヘルパーの資質向上のため、毎月の研修、会議等で対人援助の基本の確認を常に行いました。ご利用者に寄り添い、地域に根差した在宅生活を支えるために、きめ細かい介護力で対応することのできる事業所をめざして日々努力しました。

2-2 通所介護事業（デイハウス菜の花）

予防通所でスタートした菜の花もゲストの高齢化が進み、要介護の方が増えてきました。朝のバイタルチェックや会話から体調を把握するように気をつけています。

自宅で自立した生活を長く続けられるように歩行訓練は室内、屋外とも増やし、毎日体操を取り入れ、立ち上がりが困難な方でもできるトレーニングを工夫するなど体力の維持向上に力を入れました。認知機能低下を予防する脳トレプリントや記憶力ゲームは、ゲストが意欲的に取り組め楽しみながら継続的にできるものにしていきます。

作品づくりでは、玄関の装飾を季節ごとにゲストとスタッフが共同して創作しています。地元湘南の海をテーマに色とりどりの魚をステンドグラス風に仕上げた作品は「月間デイ」に入賞し誌面に掲載されました。

スタッフはゲスト一人ひとりに“目配り・気配り・心配り”をして個性を尊重しながら自立支援に重点をおいたサービスに努めました。

2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

ご利用者に対しきめ細かいアセスメントを行い、自立支援をめざした公正中立なケアプランを作成しました。ご利用者の状況の変化やサービスが適切であるか定期的にモニタリングを行い、サービス担当者間の連絡調整を密に行いました。

社会情勢の変化や改正介護保険法に対応する為に、ケアマネミーティングでの研修に加え毎週のミニ週会で事例検討や情報交換を行い専門的な知識の習得に努めました。

増加する認知症や一人暮らしの方達が地域で暮らせるように、地域包括支援センターや民生委員との連携を密にし社会で孤立しないように支援しました。同一法人内に多種の事業所がある利点を生かしご利用者や家族の状況の変化に合わせて小規模多機能型居宅介護や複合型サービスへとつなげることができました。地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」からの介護相談にも対応し自立支援の計画作成を行いました。

2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 藤の花）

「通い・泊り・訪問」の三位一体のサービスでご利用者が安心して充実した毎日を送れるようにきめ細かくフレキシブルな対応で支援しました。通いではご利用者の個性や個々の価値観を重んじ、集団の中でも自分らしく過ごせることを特に心がけました。

今年度の家族会は「ヨロシク♪まるだい」で開催し、なじみのご家族同士の交流の中からお茶の教室が毎月開かれることになりました。週2回のおでかけデイでは新たな場所を開拓し、冬の海岸でわかめ干しの見学、ゲームセンター体験、公園で昼食会などアクティブに行動しました。またバーベキュー、餅つき大会、流しそうめん等様々なレクリエーションも提供しました。

今年度も湘南平塚看護専門学校の依頼で看護実習生をのべ20名受け入れ、地域密着サービスと在宅支援のあり方を学んでいただきました。地域交流は町内会の夏祭りでご利用者が作ったヨーヨーを配り、どんど焼きに参加する等地域に根づいてきました。入り口に設置した掲示板で福祉の講演会の案内、玄米にぎにぎ体操やミニコンサートなどイベント参加の呼びかけ、ご利用者の製作した折り紙作品の提供など身近に感じていただけるよう努力しました。

2-5 複合型サービス（ぐる一ふ藤しがらきの湯）

「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」を組み合わせ、医療依存度の高い方も住み慣れた自宅で安心して暮らし続けることができるよう、介護士、看護師が協働し支援しました。介護士はご利用者の希望に合わせて快適に過ごせるようなサービスを提供し、看護師は胃瘻、吸引、在宅酸素、褥瘡、インスリン注射等に対応しました。

重度のご利用者が多いため利用期間が短く延べ人数が多いにも関わらず利用人数が少ない状況もありましたが、最近では医療機関からの紹介も増え、退院後の在宅生活を支える施設として複合型サービスが周知されるようになりました。

介護度が高いため集団でのレクリエーションが難しくなり、少人数でのレクリエーションや外出、個別対応を行いました。以前より行っているどんぐり園との交流は季節の行事にお呼びしたり、運動会では特別に競技を用意して頂き楽しみました。お祭りやお餅つきなどの自治会の行事にも積極的に参加しました。定期的なハモニカ演奏、二胡演奏、音楽レクリエーションなどたくさんの地域ボランティアが来てくださり、地域との関わりが深まりました。

昨年に続き、胃瘻・喀痰吸引研修に2名参加し、合計4名のスタッフが対応可能となりました。様々な研修に加え、しがらきの湯独自の研修を毎月行い医療依存度・介護度の高い方の対応をよりスムーズに行えるように、スキルアップを図りました。

2-6 訪問看護（訪問看護ぐる一ふ藤）

住み慣れた家で安心して暮らしたいというご利用者の思いを大切にし、その方らしい在宅生活が送れるように支援しました。医師の指示による医療処置を確実にしながらご利用者とご家族の気持ちに沿った個別看護サービスの提供を心がけました。ケアマネジャー・PT・OT・ヘルパーなど多職種との連携を密に図り、予防的看護からターミナルケアまで総合的かつ継続的に対応しました。看護・介護の不安や疲労を抱えるご家族に対して相談に応じたり、看護方法をアドバイスしたりと心身両面から支援しました。必要に応じて24時間体制をとり緊急時の夜間訪問にも迅速かつ丁寧に対応し、ご家族の安心感を得る事ができました。

複合型サービスにおいても医療的処置のある方だけでなく、リハビリ・精神的看護にも努めると共に、緊急時には訪問しショートステイの方への駆けつけなど積極的に行っています。介護スタッフの胃瘻・喀痰吸引処置の研修に指導講習会を修了した看護師が毎回立ち合い、ご利用者個々の日常生活の幅を広げていけるようサポートに努めました。

また、一番館にお住いの方の健康相談や働くスタッフの相談・怪我の応急処置にも対応し安心を提供してきました。

2-7 障がい者グループホーム

(藤が岡の家)

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、世話人中心に日常生活をサポートするとともに、看護師始め他のスタッフの暖かい声かけや見守りを通して安心の暮らしを提供しました。日常生活の中で困ったこと、心配なこと等相談をすることで病状の悪化を防ぎ、再入院を出さずに過ごせました。

関係する就労支援事業所や病院、行政機関と協力をしながら、メンバーそれぞれの出来ることを共に発見し、生活の技術の向上や活動の場の広がりを作ってきました。なかでもメンバーの一人が地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」で、ボランティア活動を始め就労に繋げることが出来たことは大変うれしい事でした。

毎年参加している地域のお祭りでは、本藤沢の家のメンバーと合流して大いに楽しみました。

(本藤沢の家)

市内でも珍しいアパート形式のグループホームとして11名が暮らし2年が経過しました。全室単身アパートの形式で日常生活ができる機能を持ち独立性が高く、メンバーは20歳から56歳までの幅広い年代で、一般企業に就労する方等と平日はそれぞれにあった活動をし、休日は自由にすごしています。栄養が偏りがちなので平日はレストラン「オハナ」からの夕食の提供を受け、メンバー同士の交流の場ともなっています。そこでの配膳や汁ものつくりの共同作業は、メンバーの生活力開発につながり就労へと成果を上げています。

毎週土曜日は料理サークルのメンバーが集まり、カレーや餃子などの夕食を作ることで、コミュニケーションや自立のための訓練をしています。また月に1回の手芸サークル「けいと玉」の活動拠点となり、外部のボランティアとの交流の機会となっています。季節ごとの園芸サークルで庭の草花を植えながらアパート近辺の方々へのあいさつをするなど、近所との交流を図っています。

今年度は2室の入退去がありました。その後も新たな入居希望者からの見学、相談が途切れることなく、どちらのグループホームも入居待ちの登録を希望される方が多くいます。障がいを持ちながら地域の中で安心して暮らせる場とし

てグループホームの役割はますます重要になっています。

2-8 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがあっても地域で自分らしく暮らし続けていくために、障がい福祉サービスを中心に様々な制度やサービス、社会資源を調整し利用者と協働してその方の生活を支えていく特定計画相談支援事業所 計画サポートぐるーぷ藤を開設して1年が過ぎました。

同一法人内に障がい居宅介護事業と、精神障がいを中心としたグループホームを持っていることから、その経験を生かしてまずは関係者からの依頼を優先してプラン作りを開始しました。市内に計画相談支援事業所が少なく多くの依頼がありましたが、相談支援専門員3名が兼務であった為、すぐに対応することが困難でした。12月には新たに2名が相談支援専門員の資格を取り、少しずつご依頼に対応できる体制を作りつつあるところです。

在宅で障がいを持って暮らす方々は多くの困難を抱え、医療的支援や更なる社会保障制度の充実が必要とされる事例が多くあります。多彩なニーズにこたえられるスキルと知識が求められています。

2-9 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

「終の棲家」としておもてなしの心を大切にし、お住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただけるよう努めました。自分らしく過ごし、一番館で最期を迎えたいという気持ちに寄り添いご家族と共に看取ることができました。看護師による個別の健康相談を充実させ、訪問診療や訪問歯科を通し主治医とのコミュニケーションを密にし、服薬管理もしっかりと行いました。また、フロア・居室を毎日除菌し手洗いの励行で感染予防に努めました。ご入居者の高齢化により認知症が進み穏やかな日常生活が時に支障をきたしてしまう場面があります。必要に応じて介護保険による複合型サービス・小規模多機能型居宅介護・ホームヘルプ・他事業所のデイサービスなどを利用し、個々に合わせて様々なニーズに対応しました。車椅子の方も多くなり個別対応が必要とされ皆様と一緒に外出が困難になる中、スタッフを増員し初詣や花見など少人数での外出を行いました。地域社会とのつながりを意識し自治会行事などに積極的に参加し季節を感じられる場面を取り入れ、日常生活を笑顔で過ごせるよう配慮しました。

食事では飲み込むことが難しくなっているためにソフト食・ミキサー食が増えていますが、管理栄養士や厨房と協力し食材によってより変化をつけて美味しく楽しんで召し上がっていただけるよう努めました。ご家族の年齢も高くなっており運営懇談会や来館時に対話を多く持ち、不安や疑問に応えながら精神的サポートを行なってきました。

避難訓練・消火訓練を定期的に行い災害時にいつでも対応できるようにお住

まいの方と共に意識を高めています。

2-10 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では管理栄養士・調理師を配置し、バランスを考えたメニュー作りを心掛けました。一番館にお住まいの方の胃腸食・ソフト食・ミキサー食の提供や食べやすい形の食器を工夫し、医療依存度の高い複合型サービスのご利用者のカロリー制限食やお持ち帰り弁当にも細かく対応しました。

管理栄養士は食事制限のあるご利用者の担当者会議に出席し、より適切なメニュー作りに努めました。また、楽しく召し上がっていただくために見た目の彩りや盛り付けの工夫、年間行事食の献立を充実させました。

レストラン「オハナ」では施設のシンボルとして、寛いでいただける雰囲気作りや地域の方の交流の場・憩いの場をめざしスタッフのサービス向上に努めました。お客様に喜んでいただくために、期間限定の新メニューを導入したりオハナポイントカードを発行しました。それによって確実にリピーターが増えました。

聴覚障がいのスタッフに加え新たに他の障がいのあるスタッフを迎え入れました。一緒に働く仲間とコミュニケーションが取れるようになり担当する仕事を少しずつこなせるようになってきました。

本藤沢の家の夕食作りを継続し、メニューに変化をつけて喜んで頂けるよう努力しました。

2-11 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に24時間応じています。

閉じこもりがちな親の相談で来た方や介護保険サービスについてのお尋ねに丁寧に対応しました。また、長時間歩いていて足元が不安定な高齢者に声をかけ一時的に休息をとっていただき、近所のご自宅までの帰路を見守りました。障がいのある関係者等からの相談も多くありました。

長年の経験を生かし緊急のSOSに対応するとともに、地域においては権利擁護の観点に立ち、弁護士・民生委員・地域包括支援センター等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割を担っていると自負しています。

2-12 ヨロシク♪まるだい

2014年10月にオープンした“ヨロシク♪まるだい”は、300円のランチを提供することで利用者が増え、顔の見える関係が出来てきています。多くの方がリピーターになり当初の目的通り、地域の通いの場・居場所としての役割をはたしています。

太極拳・フラダンス・お茶会等のミニデイでは、通って下さる利用者がボランティア講師になり、高齢者が高齢者を支える仕組み作りが出来つつあります。毎週金曜日に開かれている保健師・管理栄養士・薬剤師による健康相談は好評で、そこでのアドバイスにより太極拳に参加し、体力の改善につながるなど成果もみられています。

生活支援コーディネーターも地域の会議に参加し情報を共有したり、地域包括支援センターや民生委員と連携を取りながらその活動を始めています。また2月28日に厚生労働省老健局振興課課長補佐の川部勝一氏を迎えて開催したシンポジウムでは130人の参加者を得、介護保険の改正と生活支援コーディネーターの役割に対する関心の高さがうかがわれました。

3. 管理部門

ぐる一歩藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めました。定款・労働基準法をはじめとする法令遵守を徹底するとともに、請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実に遂行しました。予算の執行にあたっては、人員配置・水道光熱費等すべてにおいて無駄を省き経費節減に努めました。

ぐる一歩藤は神奈川県内で障害者雇用率が3%以上の中小企業を「かながわ障害者雇用ハート企業」として公表している28法人のうちの1法人となり、労働局発行のハート企業のチラシを見た高校から見学希望もありました。新たに障がい者が「オハナ」と「ヨロシク♪まるだい」で働きはじめました。雇用された障がい者は一緒に働く仲間ともコミュニケーションがとれるようになり、仕事に自信を持つようになってきました。

安全衛生委員会では産業医のアドバイスを受けながら会員の健康保持に努め、インフルエンザ・ノロウイルスに対するマニュアルを作成しました。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

メンバーの紹介により福祉のまちづくりの理念に賛同する仲間が10名増えました。一方で長年共に活動してきたメンバーの中には自ら卒業として退会する者もあり、現在会員は126名となりました。各々の資格や能力を生かして皆がやりがいをもって働ける多様な職場づくりをめざし、自己実現の場をつくりました。

福利厚生の充実にも努めました。有給休暇の取得はさらに増え対象者の93%が取得しました。感染症で欠勤するメンバーの休業補償も定着してきました。会員が様々な作品との出会いや発見で生活に潤いをもちリフレッシュを図るために、今年はNPO法人藤沢演劇鑑賞会に入会しました。ポスタルクラブにも加入し、優待特典をはじめ幾つかのサービスが受けられ快適な生活に一役かうことが期待されます。恒例の交流会は6月に鎌倉の静かな寺で写経に挑

戦し、その後フレンチを楽しみました。11月には屋形船で横浜の夜景を満喫しました。一番館で行った新年会では厨房手作りの料理に舌鼓を打ち記憶力ゲーム等で盛り上がりました。

福祉関連有資格者（2015年3月現在・重複あり）

ホームヘルパー	1級：	3名
	2級：	96名
初任者研修修了者		2名
同行援護従事者		9名
同行援護サービス提供責任者		3名
ガイドヘルパー		27名
認定特定行為業務従事者		4名
介護福祉士		60名
保健師		1名
看護師		4名
准看護師		1名
介護支援専門員		9名
障がい相談支援従事者		5名
精神保健福祉士		2名
社会福祉士		2名
社会福祉主事		3名
福祉住環境コーディネーター		2名
認知症ケア専門士		1名
学習療法士1級		1名
管理栄養士		1名
栄養士		4名
調理師		7名
キャラバンメイト		3名
普通救命講習I修了者		91名

3-2 広報活動

年4回発行している広報誌「花どけい」は毎号特集記事を組み、折々にご利用者の作品も紹介しました。特集記事はぐる一ふ藤の組織体制や新たな事業の紹介を通じて藤の福祉のまちづくりビジョンを発信し、また2015年度からの介護保険の改正についてはいち早く改正のポイントをわかりやすく説明するなど紙面づくりの工夫をし更に内容の充実を図りました。「花どけい」は他団体からの関心も高く見学者や訪問者には資料として活用しています。ホームペー

ジにはタイムリーに情報をアップし内容を充実させました。

見学や取材は一番館のみならず「ヨロシク♪まるだい」の希望者も多く、見学の方にはランチも予約いただき「オハナ」、「まるだい食堂」ともに絶賛されています。藤沢市のモデル事業「ヨロシク♪まるだい」は全国から関心を持たれ、今やぐるーぷ藤の広告塔になっています。

3-3 諸団体での役割

- ・認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 常務理事
- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度 レベル認定委員
- ・民間介護事業推進委員会 委員
- ・藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・藤沢市市民活動推進委員会 委員
- ・藤沢市小規模多機能型居宅介護事業所連絡会 委員
- ・藤沢市住まいと暮らし連絡会 委員
- ・神奈川県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会 委員
- ・NPO法人昴の会 理事
- ・ふじさわ福祉NPO連絡会 代表

4. 研修プロジェクト

ご利用者の多様なニーズにきめ細かく対応できるよう、メンバー一人ひとりに対し各部門の個別研修プログラムを設置し、『理念と意思の共有』『スキルアップ』『これからの介護について』を学びの3本柱とし、体系的な研修を組み立てました。また自己研さんを重ねたメンバーを適切に評価するため、運営報告会と内部・外部研修の参加回数を時給に反映させるシステムをつくり実行しました。今年度も内部、外部を合わせて194回の研修がありました。

理念の共有と継承のための「理事長と語る会」は5回82名の参加を得ました。藤の生い立ち、藤の理念を再確認するとともに最新の介護保険情報の習得、メンバーの交流の場となり有意義な研修となりました。

スキルアップ研修は全6回開催し、内容をバージョンアップしたことで参加人数は2倍に増えました。特に田川和子先生の「訪問介護の基礎と共感的理解」は訪問介護に携わるメンバーにとって貴重な機会となりました。

恒例の三重大学准教授竹内佐智恵先生の「介護講座」は22回目になり、ほとんどのメンバーはボディメカニクスを意識したケアを習得しています。公開医療講座では湘南中央病院在宅診療部長奥野滋子Dr.に「緩和ケア“痛みを和らげるために”」をお話いただき緩和ケアの重要性を学びました。またAEDを使用した「救命救急講習会」を行い普通救命講習I修了者は91名になりました。

5. 二番館建設委員会

5月と6月に開催した委員会では地主さんとの地代交渉を行い、こちらの提案した地代の価格の決定を受け、二番館の概要について検討を行いました。また粗い設計に取り掛かり、賃貸価格の参考に近隣のサービス付高齢者住宅の価格調査を行いリストを作成しました。年度内の建設着手を目ざしましたが、地主さん側の諸事情で土地整備の調整に時間がかかっています。

6. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、山王町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行いました。地域で地道な活動をするNPOや障がい者団体等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援してきました。

今年度も被災地支援の一環として福島、宮城県を訪問しました。福島県花見山では2年前の参加者が植樹した桜が、しっかり根つき咲いている姿に安堵しました。南三陸の民泊「未希の家」は新築され、ご家族も一步一步前に歩き出しているように思われました。被災地へ贈った寝具等も大変喜ばれました。

またぐる一ふ藤の呼びかけにより、ふじさわ福祉NPO連絡会を立ち上げました。市が総合事業に移行するにあたり、生活支援のあり方を提言するための協議体として、市内のNPO事業所を中心に市社協も加わり活動を始めました。

市民協を代表し、民間介護事業推進委員会の委員や内閣府の「キャリア段位制度」の段位認定委員として介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った発言をしてきました。さらに各種講師等の機会を通して、ぐる一ふ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行ってきました。

※市民協：認定NPO法人市民福祉団体全国協議会

市社協：社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会

◇講師

- ・ 05/09 「介護保険改正後の展望と市民事業運営」(くらしの経済研究所)
- ・ 05/15 「ソーシャル・イノベーション:コミュニティによる問題解決」(慶應義塾大学金子ゼミ)
- ・ 05/20 「地域デビュー・私の場合・主婦の方へ」(江戸川人生大学)
- ・ 05/22 「地域にほしい生活支援、サービスの現状と展望」
(認定NPO法人太田はせさんず)
- ・ 05/27.28 「介護保険改正と地域支援あいセンター」(地域福祉ネットワーク)
- ・ 05/31 「新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム」(たすけあい鼓楼)
- ・ 06/24 「第30回社会事業家100人インタビュー」(人と組織と地球の
ための国際研究所)
- ・ 06/28 「介護保険法の改正点」(ゆうちょ銀行)
- ・ 06/30 「市民参加型活動と介護保険改正」(ナルク東京研修会)
- ・ 08/04 「地域支援事業の取り組み」(地域支援事業を考えるフォーラム)
- ・ 08/06 「社会的課題の解決を事業化する」(かながわコミュニティカレッジ)
- ・ 09/19 「市民事業と福祉マンション」(佐賀県宅老所連絡会)
- ・ 10/10 「市民運営と福祉マンション」(NPO法人窓の会)
- ・ 10/31 「地域包括ケアにおける医療と介護の連携」(在宅医療研究会)
- ・ 11/18 「地域連携と都市再生」(横浜国立大学)
- ・ 01/10.11 「次世代リーダー養成研修」(市民協)
- ・ 02/12 「ブレインストーミングセッション」(日本NPOセンター)
- ・ 02/13 「NPO活動と事業運営」(ワーカーズ・コレクティブ実結)
- ・ 02/17 「高齢者・障がい者・子どもたち、誰もが利用しやすいサービスの実現のために」(神奈川県社会福祉協議会)
- ・ 02/28 「介護保険改正と生活支援コーディネーターの役割」(藤沢市)
- ・ 03/02 「女性のための就職、起業セミナー」(日本サードセクター)

◇被災地訪問

- ・ 「花見山公園花見ツアー」4/12-4/13
- ・ 「未希の家」10/13-14

◇取材、見学等

- ・ 取 材 : 月刊ケアマネジメント 福祉タイムズ シルバー新報 市民協
ジェイコム湘南 日経グローバル 市民フォーラム21
- ・ 見 学 : 34件 108人
- ・ 雑誌掲載 : 「月刊ケアマネジメント10月号」
「福祉タイムズ11月号」
「シルバー新報1月1日号」
「日経グローバル3月号」
「きらり人春号」
- ・ テレビ放映 : ケーブルテレビ

第2号議案

2014年度決算報告書及び監査報告

2014年度 活動計算書
2014年4月1日から2015年3月31日まで

(単位：円)

科	目	金	額
I	経常収益		
1	受取入金 さわ会員入会金 藤賛助会員入会金	17,000 8,000 5,000	30,000
2	受取会費 さわ会員年会費 藤賛助会員年会費	87,000 5,000 30,000	122,000
3	受取寄付金 寄付金		2,027,205
4	受取助成金等 委託託金収入 補助成金収入	1,999,620 300,000 3,382,000	5,681,620
5	事業収益 事業業収入		306,883,763
6	その他収益 受取利息 雑収入	8,582 19,746,140	19,754,722
	経常収益計		334,499,310
II	経常費用		
1	事業費		
(1)	人件費 給料手当等 有償ボランティア 通勤交通費 法定福利生 福厚生 人件費計	198,185,651 2,596,840 2,398,740 22,554,307 390,822 226,126,360	
(2)	その他経費 什器備品費 販売物品費 食印材製本費 会刷議本費 旅費交通費 燃通料信費 消耗品費 水道繕光熱費 家賃借支料 新開借図書費 減価償却費 諸租税公課費 研支払手数費 まちづくり対策費 被災地支援費 管弘理諸費 雑番館準備費用 その他業経費	93,971 150,696 13,079,883 858,759 66,678 1,399,978 906,603 927,439 4,527,895 486,781 9,108,602 10,960,800 3,945,684 136,489 17,842,149 388,887 50,600 3,546,424 550,292 224,498 472,632 114,780 9,498,255 109,230 502,875 3,000,000 82,950,880	309,077,240

2	管理費							
(1)	人件費							
	給有退通福人	料償	ボラ	手ラ	当テ	イ	等ア	
							金	2,799,170
							費	237,888
							費	150,000
							費	460,220
							計	2,132,473
								5,779,751
(2)	その他経費							
	印会旅販燃通消修光賃研交新保諸什租支管式雜そ	刷	費	製議交物料信	本	費		
							費	740,928
							費	801,073
							費	363,480
							費	863,296
							費	29,816
							費	827,245
							費	428,969
							費	254,784
							費	952,675
							料	2,515,859
							費	1,185,967
							費	267,751
							費	86,100
							料	4,006,982
							費	459,000
							費	32,400
							課	110,076
							料	365,542
							費	3,065,116
							費	648,000
							計	1,172,148
								19,177,207
	管	常	理	費	用	計		
	當	期	常	增	減	額		
								24,956,958
III	經常外收益							334,034,198
	經常外收益							465,112
IV	經常外費用							0
	經常外費用							0
	稅引前當期正味財增減額							465,112
	法人稅、住民稅及事業稅							69,466
	當期正味財增減額							395,646
	前期繰越正味財增減額							148,805,517
	前期繰越正味財增減額							149,201,163

貸借対照表

2015年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	35,799,084	
貯蔵品	809,180	
未収金	53,510,040	
前払金	7,350,730	
立替金	6,120	
流動資産 合計		97,475,154
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	297,610,987	
建物附属設備	23,945,616	
構築物	471,161	
車両運搬具	295,759	
什器備品	3,905,657	
土地	166,519,448	
有形固定資産 計	492,748,628	
(2) 無形固定資産		
電話加入権	180,600	
ソフトウェア	595,066	
権利金	665,000	
無形固定資産 計	1,440,666	
(3) 投資その他の資産		
敷金	1,599,000	
保証金	2,066,962	
投資その他の資産 計	3,665,962	
固定資産 合計		497,855,256
3 繰延資産		
繰延資産	1,296,000	
繰延資産 合計		1,296,000
資産 合計		596,626,410
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	20,654,483	
前受金	27,686,100	
預かり保証金等	12,453,000	
仮受金	152,664	
二番館準備費用引当金	3,000,000	
流動負債 合計		63,946,247
2 固定負債		
長期借入金	283,979,000	
擬似私募債	99,500,000	
固定負債 合計		383,479,000
負債 合計		447,425,247
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		148,805,517
当期正味財産増減額		395,646
正味財産 合計		149,201,163
負債及び正味財産 合計		596,626,410

財 産 目 録

2015年3月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	現金手許有高	1,447,607	
普 通 預 貯 金	横浜銀行 藤沢中央支店 3口座	34,351,477	
貯 蔵 品	ユニホーム、書籍 等	809,180	
未 収 金	利用料 等	53,510,040	
前 払 金	前払保険料、リサイクル預託金 等	7,350,730	
立 替 金	施設賠償責任保険立替	6,120	
流動資産 合計			97,475,154
2 固定資産			
建 物	一番館 藤が岡、内部造作 等	297,610,987	
建 物 附 属 設 備	電気設備 等	23,945,616	
構 築 物	一番館外構工事	471,161	
車 両 運 搬 具	ワゴンR3台、日産セレナ	295,759	
什 器 備 品	小規模藤の花設備 等	3,905,657	
土 地	一番館 藤が岡	166,519,448	
有形固定資産 計		492,748,628	
電 話 加 入 権		180,600	
ソ フ ト ウ ェ ア	介護ソフト	595,066	
権 利 金	山王プラザ賃貸契約礼金	665,000	
無形固定資産 計		1,440,666	
敷 金	藤が岡 駐車場3台 等	1,599,000	
保 証 金	山王プラザ保証金 等	2,066,962	
投資その他の資産 計		3,665,962	
固定資産 合計			497,855,256
3 繰延資産			
繰 延 資 産	まるだい開業準備費用		1,296,000
資産 合計			596,626,410
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	3月分給料 等	20,654,483	
前 受 金	一番館入居者入居金 等	27,686,100	
預 り 保 証 金	一番館入居者等預り保証金 等	12,453,000	
仮 受 金	レストランオハナ食事券	152,664	
二番館準備費用引当金		3,000,000	
流動資産 合計			63,946,247
流動負債合計			63,946,247
2 固定負債			
長 期 借 入 金	横浜銀行設備資金借入2口	283,979,000	
擬 似 私 募 債	199口	99,500,000	
固定負債 合計			383,479,000
負債 合計			447,425,247
正味財産			149,201,163

監 査 報 告 書

NPO法人ぐるーぷ藤
理事長 鷺尾 公子殿

下記の通り監査をいたしましたので、ご報告いたします。

記

- ・ 監査実施日 2015年5月13日
- ・ 立 会 人 理事長 鷺尾 公子 事務局長 吉村 さえ子
経 理 富田 信美・佐藤 由実
- ・ 監査対象期間 2014年4月1日～2015年3月31日
- ・ 監 査 方 法 実査及び立会人からの聞き取り

1. 会計監査

- ・ 諸伝票、預金通帳、現金、証憑書類並びに活動計算書、貸借対照表及び財産目録などについて実査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

2. 業務監査

理事長 鷺尾公子氏から2014年度事業に関する概要説明を受け、当該事業計画に沿って監査を実施しました。

- ・ 藤沢市の委託を受けて昨年10月に開所した地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」は、ぐるーぷ藤の23年間の活動の集大成ともいえる正に市民力を生かした先進的な事業であり、全国のモデル事業として高く評価いたします。
- ・ 制度の開始から2年、藤沢市で初の複合型サービスとしてスタートした「しがらきの湯」は、医療依存度の高い方の在宅生活を支える最後の砦ともいえる大変有意義な事業ですが、医療機関の認知度が低いこと等により運営的には厳しい面が見受けられました。来年度の新しい体制での躍進を期待いたします。
- ・ 理事長が市民協の常務理事はじめ厚生労働省・内閣府・藤沢市等の要職を担う等さまざまな機会を通じて介護保険および福祉全般に関して積極的に発信するとともに、全国のNPO支援を惜しまぬ姿勢に敬意を表します。
- ・ 年度内着工をめざしていた二番館建設については来年度大いに期待いたします。

2015年5月13日

監事 小野 淑子

監事 藤澤 抱一



MEMO

報告

2015年度事業計画

I. 事業方針

(1) 基本方針

年老いても、障がいがあっても、病気になっても安心して暮らせる地域社会をつくるため、特定非営利活動法人として社会的責任を果たすとともに、市民相互の助け合いのまちづくりをめざします。

(2) 運営方針

1. 組織運営

認定NPO法人ぐるーぷ藤は、趣旨書および定款にもとづき事業を行います。

理事会の議決を経て事業と活動の方針について討議する運営会議を月1～3回行います。そこでまとめられた提案事項について毎月開かれる部門代表会議で検討し、その後全メンバーを対象に運営報告会を開催し活動を共有します。また、それぞれの部門会議において会員の意見交換を行いその内容を事業活動に反映させる等民主的な運営をめざします。

昨年度も「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」の地元を中心に新しい仲間を迎えることができました。創設の理念を共有し継承することを大切にして、多様な働き方を実践していきます。ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することをすすめます。

今年度は介護保険法改正により介護保険事業の増収が厳しい中、処遇改善を行うためにすべての無駄を省き経費節減に努めます。

藤が岡の地にしっかりと根を張り各事業をさらに安定させるとともに、一番館運営により見えてきたニーズに対応するため「二番館」の建設準備をすすめます。

2. 事業・活動部門

利用者の多様なニーズにできるだけ柔軟に対応し、本来事業、介護保険事業（訪問介護・通所介護・居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護）、障がい者総合支援事業（居宅介護・障がい者グループホーム・相談支援事業）、訪問看護事業、高齢者住宅事業そして地域ささえあいのモデル事業として先陣をきった地域支援事業を連携させ、より充実した福祉の実現をめざします。

「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」においては、NPO版地域包括支援センターとしての位置づけで24時間体制の総合相談窓口をさらに充実させ、地域の安心を支える福祉拠点としての機能を果たします。レストラン「オハナ」は、食事の場だけでなく地域の交流の場・憩いの場としても多くの方にご利用いただけるような運営をめざします。地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」では、さまざまな年代の利用者交流や安らげる場を提供し、悩みや相談など解決の糸口になるよう対応していきます。

また今年度もまちづくり活動を行う団体等への支援を続けます。

2-1 訪問介護（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために、心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えます。本来事業では「ワンコイン」の子育て支援、保険外サービス、緊急時の対応、ご家族の介護負担軽減等様々なニーズに応え、藤らしい訪問介護サービスを行います。事業所加算Ⅱを取得した事業所として介護保険事業、障がい者総合支援事業では、ご利用者の自立に向けて困難なケースにも積極的に対応し、多職種との連携を図りながら多様な利用依頼に出来る限り応えるように努力していきます。また、昨年から開始した同行援護では同行援護従事者養成研修応用課程修了者が3名になり安定したサービスの提供を行います。行動援護については、必要に応じて2人対応も考慮し安全なサービスの提供を行います。

毎月のさまざまな研修、会議等で対人援助の基本の確認を常に行い、ヘルパー全体の資質ときめ細かい介護力の向上に努めます。その方らしい地域に根ざした在宅生活を支えるために日々努力します

2-2 通所介護（デイハウス菜の花）

ゲストの高齢化に伴い本人の機能・能力をいかにして生かすかが課題になります。自己選択→決定→遂行の機会をつくり自信を持って活動できるように支援します。効果的な日常生活動作トレーニングを取り入れ心身ともに維持・向上するように努めます。多種多様な作品作りはゲストの意向や自主性をサポートして、完成する喜びや達成感を感じていただきます。

少人数の良さを生かし、個々の能力が十分に発揮できるリハビリプログラムを取り入れ支援していきます。

2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

今年度からの介護保険改正、地域包括ケアシステムなどケアマネジャーの専門性がますます問われています。毎月の研修やミーティング・ミニ週会を通してアセスメント、モニタリング、地域連携能力向上を図るための専門的な知識や技術の習得を積

極的に心がけていきます。

公正中立なケアマネジメントをめざし、ご利用者の状態にあったサービスにつなげていきます。増加する独居や認知高齢者に対しては地域包括支援センターや民生委員をはじめ多職種との連携を密にして、社会で孤立しないように支援していきます。

ご利用者の「住み慣れた家で安心して暮らしたい」という思いを大切に、介護保険や地域資源を活用し本当に必要な支援は何かを考えてケアマネジメントを行っていきます。

2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 藤の花）

在宅生活を基本に「通い・泊り・訪問」を組み合わせたサービスでご利用者がいきいきと毎日を送れるように支援します。ご利用者のアイデンティティを大切にし集団でも自分らしく過ごせる環境作りと一人ひとりの意向を尊重した対応に努めます。

スタッフが様々な研修を受けられるように体制を整え、常に向上心を持ち自己研さんを怠らないようにします。

大鋸で3年目を迎え地域との交流に力を入れ夏祭りやどんど焼きなど積極的に地域活動に参加します。バザーやコンサート等のイベントと定期的に行う玄米にぎにぎ体操や二胡の演奏会等に地域の方々が集まれるように呼びかけていきます。さらに地域貢献として天神下公園美化を推進し、町内会の方や運営推進委員とかかわりを深め緊急災害時に連携がとれるようにします。

2-5 看護小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯・訪問看護）

◇ぐるーぷ藤しがらきの湯

今年度より複合型サービス改め看護小規模多機能型居宅介護となりました。胃瘻喀痰吸引指定事業所として、医療依存度の高い方や退院後の療養生活を送る方等が安心して在宅で暮らせるよう、看護師・介護士・管理栄養士等が協働で利用者・ご家族を支援します。

地域の自治会、ボランティアの協力を得て、生活を楽しみ他者との交流を持てるような環境づくりに努めます。ご利用者それぞれにあったきめ細かい支援を行い安心してご利用いただけるように、スタッフは様々な研修を重ねスキルアップをめざします。

小規模多機能型居宅介護や訪問看護、医療機関、藤沢市との連携を積極的に行い、一人でも多くの方がその方らしい暮らし方ができるよう支援します。

◇訪問看護ぐるーぷ藤

ご利用者の思いを大切にし住み慣れた地域や家庭で安心して豊かな療養生活を送れるように支援します。ご利用者とご家族の気持ちに沿った看護を提供すると共に医師の指示による医療処置を確実にいき、予防的看護からター

ミナルケアまで総合的かつ継続的に対応します。在宅生活に困難を来してしまう認知症の方が多くなり包括的なケアが必要になっている今、主治医やケアマネジャー、ヘルパーなど多職種との連携を密に図り適切なケアを行います。また在宅リハビリにも積極的に対応し、ロコモティブシンドローム対策のために支援します。ご家族にも心身両面からの援助を行い、より良い看護の方法や相談に応じたり必要に応じて24時間体制の緊急時対応をとっています。

看護小規模多機能型サービスでは、医療的ケアだけでなくリハビリや精神的看護も心がけ、訪問も行いご家族の不安緩和に努めます。

一番館にお住まいの方や働くスタッフの健康相談・応急処置に対応し、安心を提供していきます。

2-6 障がい者グループホーム（藤が岡の家・本藤沢の家）

◇藤が岡の家

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、世話人を中心として日常生活をサポートすると共に、看護師始め他のスタッフの暖かい声かけや見守りを通して、病状の変化に機敏に対応し安定して生活が継続できるよう支援します。日常生活の中で困っていることの相談支援や、グループホームから外に向かって活動の場が広げられるような応援を行っていきます。

◇本藤沢の家

地域でのアパート暮らしにより近い形で支援を受けながら安心して暮らせるグループホームという特徴を生かし、3年目を迎えたメンバーと共にさまざまな活動をしていきます。メンバーの状況に合わせて就労先、就労継続支援事業所、医療等と連携しながらそれぞれの生活力を高めて、地域の方たちの協力を得ながらも一つの家族として安心できる生活を支援していきます。

また、どちらも藤沢市内で特徴的なグループホームとして多くの見学者を受け入れていきます。

2-7 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがある方の生活を支え、その抱える問題解決や適切なサービス利用に向けて相談支援を行います。

法人内に精神障がい者のグループホームを持つという特色を生かし、主として精神障がい者のサポートを行っていきます。さまざまなサービスや地域資源を連動させ、また法人内の他部門との連携を図りながらその方の自己決定を尊重し、自立生活の支援を行っていきます。今後すべての障がい者に計画相談支援が必要となるため、できる限り多くの依頼に対応していくとともに相談支援専門員のスキルアップを図っていきます。

2-8 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

おもてなしの心を大切にし、「終の棲家」としてお住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただけるよう努めます。看護師による個別相談や主治医やケアマネジャーとの連携を密に図り、介護保険と一番館サービスを利用し個々に合わせたさまざまなニーズに対応します。ご入居者の高齢化にともなって認知症や転倒など介護の必要性が高くなっている中、今できる事を行いながら日常生活に満足が得られるよう支援していきます。積極的に自治会行事などに参加し地域社会とのつながりを忘れないよう努め、年間行事を組み外出やフロアでのカルチャーなどにおいても楽しみを提供し多くの場面で笑顔が見られるように過ごしていただきます。

運営懇談会やご家族との対話を多く持ち、その時々々の不安や疑問に誠実に答えながら精神的なサポートを行っていきます。

非常時に備え計画的に防災訓練や物品の確認・管理を行い、災害時にいつでも対応できるようにご入居者と共に意識を高めます。

2-9 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では管理栄養士・調理師を配置し、一番館にお住まいの方やしがらきの湯を利用されている方のさまざまな食事形態や状況の変化に迅速に対応していきます。また安全で美味しい食事を提供できるよう研修を随時行っていきます。

レストラン「オハナ」は、季節により新メニューも加え施設のシンボルとしてくつろいでいただける雰囲気づくりに努め、これからも地域の方の交流の場・憩いの場をめざします。

今年度も引き続きグループホーム本藤沢の家の夕食作りを行います。世代の違うメンバーの誰もが美味しく食べられる献立作りをします。

2-10 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャーが常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に応じます。長年地域においてさまざまな支援を続けてきた経験を生かし、緊急のSOSに24時間対応のNPO版地域包括支援センターの役割を担います。権利擁護の観点に立ち、必要に応じて弁護士・民生委員・地域包括支援センター・地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）等に橋渡しをします。

2-11 地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

藤沢市より受託した“ヨロシク♪まるだい”は地域のボランティアの協力を得て、手作りで300円の食事を提供します。太極拳・フラダンスなどのミニ

デイを行う事で高齢者のみならず、子どもや障がい者を含め誰でも気軽に立ち寄れる通いの場・居場所を提供し地域での孤立化を防いでいきます。

生活支援コーディネーターは、地域包括支援センターや地区社協・民生委員・自治会などとも相互に協力し合い、緩やかな連携を行っていきます。身の回りの片づけから始まり自分自身の望む最期までを考える終活セミナーを開催したり、そこに集う人々のニーズを把握し、様々なサービスに繋げるとともに地域に不足しているサービスの調査等にも着手します。また誰もがわかりやすい地域支援マップを作成するための資源調査も行います。藤沢市の基幹型地域ささえあいセンターの第一号としての役割を果たしていきます。

3. 管理部門

ぐる一ふ藤総体の事務局として管理運営に責任をもち効率的に業務を遂行できるように努めます。各部門の請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実にを行います。予算の執行にあたっては、人員配置・物品管理・水道光熱費すべてにおいて無駄を省き経費節減に配慮します。

また、火災・震災時の予防および安全確保のため、消防計画に基づき年2回防災訓練を行うとともに防災委員会を中心として備蓄品の点検・管理を強化します。さらに、労働安全衛生法に基づき設置した安全衛生委員会では事業所の職場環境および会員の健康保持に努めます。

事業の拡大によって増加する個人情報保護にはなお一層配慮しセキュリティーの管理を徹底します。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

まちづくりの理念に賛同する仲間を増やします。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして、皆がいきいきと働ける多様な職場づくりをめざし自己実現の場をつくります。日頃接することの少ない他部門のメンバーと親睦を深められる交流会の開催、スタッフの腰痛予防のための研修、また有給休暇の取得を推進するなどさらに福利厚生の充実に努めます。

3-2 広報活動

地域に定着してきた広報誌「花どけい」はまちづくりの情報発信の媒体として、ご利用者や見学者に資料として提供するとともに各種講演会資料として有効活用していきます。

各部門のパンフレットは活動に合わせ改定していきます。またホームページには、藤の活動をタイムリーに紹介し更に内容の充実をはかります。

テレビや雑誌の取材には丁寧に対応します。

4. 研修プロジェクト

ご利用する方のニーズを的確に把握し柔軟に対応するためには、メンバー一人ひとりに高度なスキルが要求されます。また、日々の業務の中で各メンバーが目標に向かって自己実現を図ることが藤全体の介護の質を高めていくと考え、今年度も『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を学びの3本柱として研修プロジェクトを引き続き設置します。

メンバー及び地域社会のニーズに合わせた介護技術や幅広い知識の習得を目的に研修計画を策定するとともに、一人ひとりの経験やスキルに合わせた体系的・継続的な研修や部門ごとの専門的な研修を組み立てていきます。

今年度はそれらの研修の総合的把握の為、個人別の統一研修シートを作成します。昨年度よりはじめた研修に積極的に参加したメンバーを評価していくシステムは、検討改善し継続していきます。

5. 二番館建設委員会

昨年度に引き続き“福祉のまちづくり”をめざし一番館と同様に地域の福祉拠点として、皆と繋がりながら自分らしくいきいきと暮らせる場や、多様なメンバーがお互いに助け合って働く場を作り出すことを目的に二番館建設の委員会を設置します。

昨年度検討していた土地はその調整に時間がかかる事が予想されます。それを踏まえこの土地をぐる一ふ藤の長期計画における三番館と位置づけ、今年度は新たな場所で二番館建設を目ざします。サービス付き高齢者向け住宅とそこに住まう人を最後まで支える小規模多機能型居宅介護、そして近隣の人達の集える場所等地域の中で市民事業の担うべき役割と、一番館運営で見えてきた課題を解決するため二番館の建設に取り組みます。

6. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、山王町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行います。今年度も地道な活動をするNPOや地域の団体・行事等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援していきます。

また藤沢市の諸団体の委員、市民協常務理事、厚生労働省関連の民間介護事業推進委員会委員等での活動を通じて介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った発信をしていきます。さらに各種講師等の機会を通して、ぐる一ふ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行います。

また被災地支援については現地で必要とされる支援を継続していきます。

Ⅱ. 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービスおよび相談事業

●通常事業

- ① 内 容：高齢者、障がい者などの介護、家事援助および産後、育児等の生活支援および相談
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市およびその近接地域
- ④ 従事者人員：40名
- ⑤ 対 象 者：50名
- ⑥ 事 業 費：¥4,431,190

(2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発を図る事業

●介護講座等

- ① 内 容：介護講座
- ② 日 時：7月、9月、11月
- ③ 場 所：ぐる一ふ藤一番館・藤が岡
- ④ 従事者人員：7名
- ⑤ 対 象 者：藤会員およびさわ会員、地域の方
- ⑥ 研 修 費：¥320,200

(3) 介護保険法にもとづく事業

●訪問介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：60名
- ⑤ 対 象 者：80名
- ⑥ 事 業 費：¥17,414,848

●通所介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への通所介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：30名
- ⑥ 事 業 費：¥13,680,160

●居宅介護支援事業

- ① 内 容：介護保険対象者への居宅介護支援サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：7名
- ⑤ 対 象 者：120名
- ⑥ 事 業 費：¥13,010,924

●小規模多機能型居宅介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者に「通い」を中心として「泊まり」「訪問」を組み合わせたサービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名
- ⑥ 事 業 費：¥63,791,400

●看護小規模多機能型居宅介護事業 ・ 訪問看護事業

1. しがらきの湯

- ① 内 容：医療依存度の高い介護保険対象者に看護を組み合わせた「通い」を中心として「泊まり」「訪問」「訪問看護」の提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名
- ⑥ 事 業 費：¥57,810,590

2. 訪問看護ぐるーぷ藤

- ① 内 容：介護・医療保険対象者への訪問看護サービスの提供

- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：30名
- ⑥ 事 業 費：¥11,402,933

(4) 高齢者・障がい者等に対する居宅介護支援および施設サービス事業

●高齢者住宅

- ① 内 容：高齢者に終の棲家としての住宅及び生活支援サービス提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：21名
- ⑥ 事 業 費：¥58,429,480

●居宅介護サービス事業

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：60名
- ⑤ 対 象 者：60名
- ⑥ 事 業 費：¥19,052,507

●障がい者グループホーム

1. 藤が岡の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：4名
- ⑤ 対 象 者：6名
- ⑥ 事 業 費：¥11,382,914

2. 本藤沢の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：8名

- ⑤ 対象者：11名
- ⑥ 事業費：¥13,504,601

●障がい者相談支援事業

- ① 内容：障がい者総合支援法対象者への相談支援サービスの提供
- ② 日時：通年
- ③ 場所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対象者：20名
- ⑥ 事業費：¥501,908

(5) 安心して住める地域社会の実現に貢献する事業

●地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

- ① 内容：1.生活支援コーディネーターが中心になり誰でもが気軽に立ち寄れる通いの場を提供し、地域資源等と連携しさまざまなニーズの把握に努める（委託事業）
2.まるだい食堂での食事の提供やミニディ、介護・医療相談等通いの場の運営（補助金事業）
- ② 日時：通年
- ③ 場所：藤沢市藤沢地区
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対象者：藤沢地区在住の方
- ⑥ 事業費：¥16,056,105

(6) レストラン・厨房事業

●レストラン・厨房事業

- ① 内容：ぐるーぷ藤利用者への食事提供
一番館で働くスタッフおよび一般の方へのレストラン運営
- ② 日時：通年
- ③ 場所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対象者：多数
- ⑥ 事業費：¥29,855,139

(7) まちづくり活動を行う団体等への支援事業

●まちづくり対策費

- ① 内 容：まちづくり活動を行うNPO法人、障がい者団体等や被災地支援活動を行う団体等に対する寄附事業
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域、他被災地等
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：10～15団体
- ⑥ 事 業 費：¥500,000

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

●総合相談窓口

- ① 内 容：福祉・医療に関する相談業務
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市およびその近接地域
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：多数

2015年度活動予算書(特定非営利活動に係る事業)

2015年4月1日から2016年3月31日まで

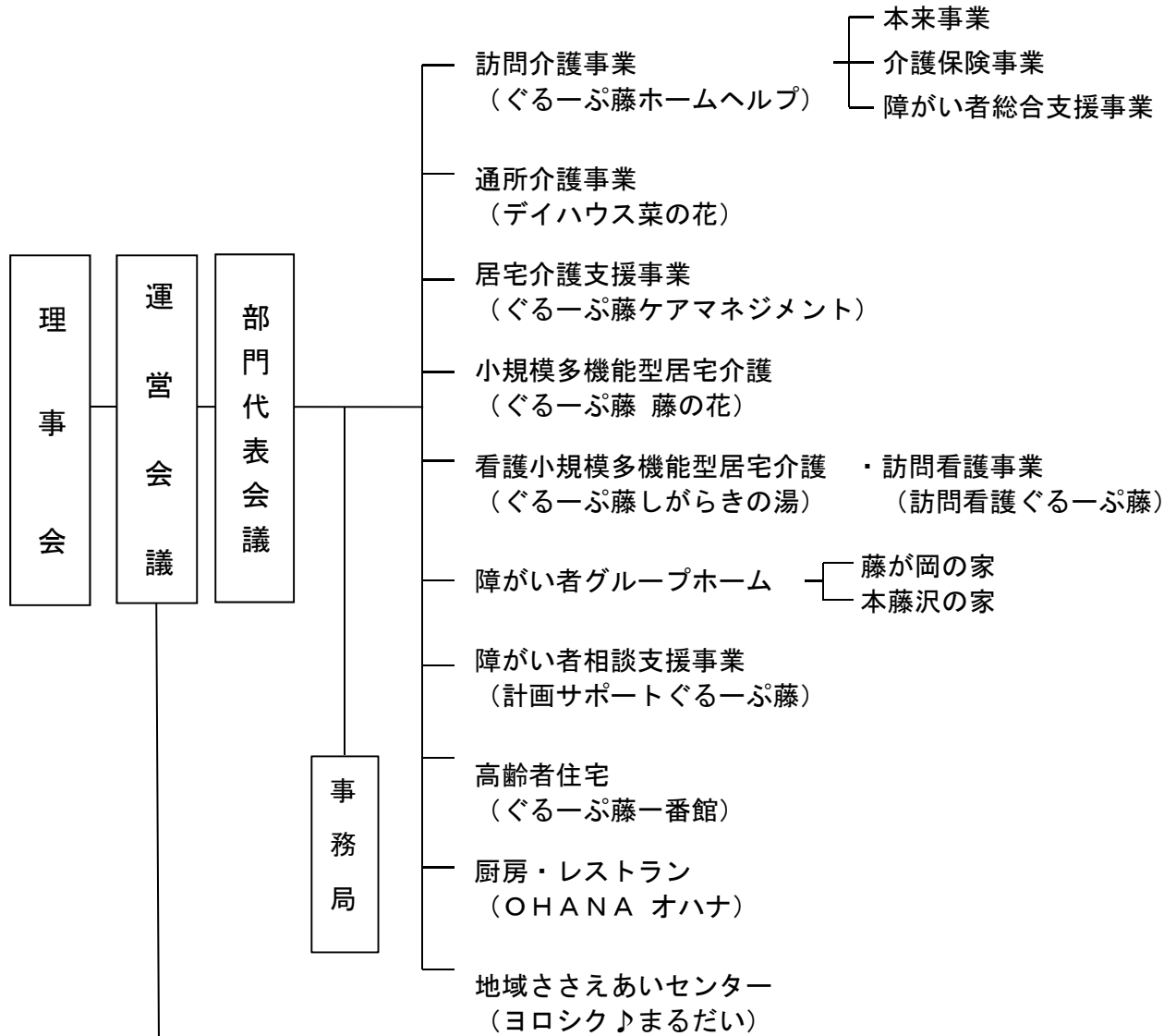
(単位:円)

科 目	金 額	(税込、単位:円)
I 経常収益		
1 入会金収入		
正 会 員 入 会 金	10,000	
さ わ 入 会 金	10,000	20,000
2 会費収入		
賛 助 会 費	15,000	
正 会 員 年 会 費	5,000	
さ わ 会 費	85,000	105,000
3 事業収入		341,039,575
4 補助金等収入		8,979,208
助 成 金 ・ 委 託 金 収 入		8,979,208
5 雑収入		3,339,600
6 寄付金収入		2,000,000
経常収益計		355,483,383
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 給 料 手 当 等	206,444,505	
有 償 ボ ラ ン テ ィ ア	2,688,300	
賞 与	11,000,000	
通 勤 交 通 費	2,293,560	
法 定 福 利 費	23,300,000	
福 利 厚 生 費	506,736	
人 件 費	246,233,101	
(2) その他経費		
什 器 備 品 費	194,400	
什 販 物 品 費	204,000	
食 材 費	15,018,630	
印 刷 製 本 費	430,440	
会 議 費	54,896	
事 業 費 交 通 費	1,500,000	
燃 料 費	936,000	
通 信 費	1,014,504	
新 聞 図 書 費	118,762	
消 耗 品 費	4,399,688	
修 繕 費	1,020,000	
水 道 光 熱 費	9,046,080	
賃 借 料	3,969,990	
保 険 料	388,487	
諸 会 費	31,600	
研 修 費	125,000	
支 払 手 数 料	234,690	
ま ち づ く り 対 策 費	500,000	
被 災 地 支 援 費	50,000	
管 理 諸 費	52,040	
租 税 公 課	2,800,434	
減 価 償 却 費	16,799,601	
家 賃 支 出	12,729,800	
支 払 利 息	9,156,244	
生 活 支 援 C D 事 業 費	3,034,912	
雑 費	781,400	
そ の 他 経 費	84,591,598	
事 業 費		330,824,699

2	管理費							
(1)	給料手当等							
	有償ボランティア							
	通勤交通費							
	福利厚生費							
	人件費							
(2)	その他経費							
	印刷製本費							
	会費							
	旅費							
	販売費							
	燃費							
	通信費							
	消耗品費							
	修繕費							
	水道光熱費							
	賃借料							
	研究費							
	交際費							
	新聞図書費							
	新保料							
	諸会費							
	租税公課							
	支払手数料							
	支管諸料							
	二番館準備費							
	雑費							
	その他経費							
経常費用								
当期						24,617,570		355,442,269
前期								41,114
前期繰越								149,201,163
当期繰越								149,242,277

資料

2015年度ぐるーぷ藤組織図



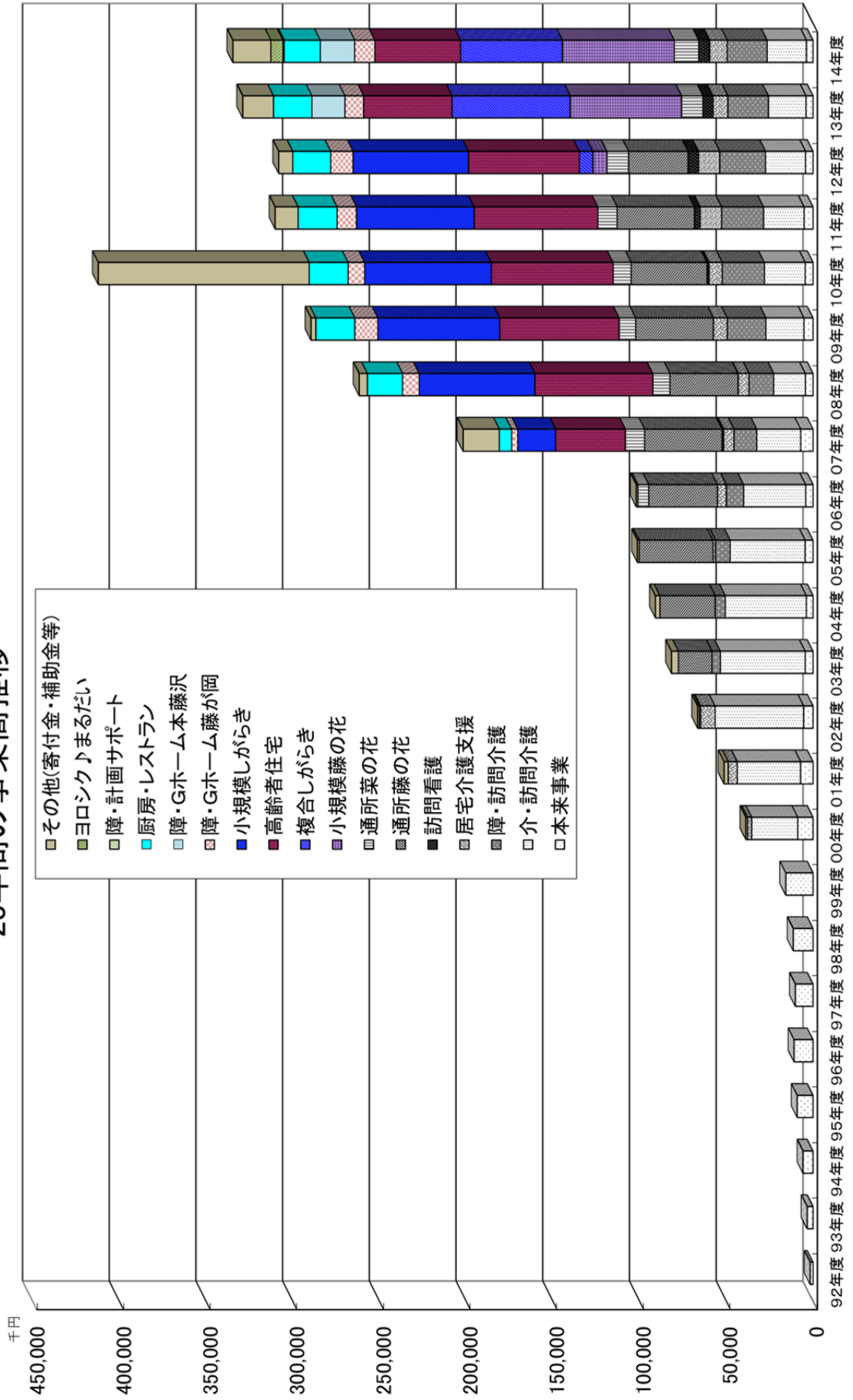
- 安全衛生委員会
- 研修プロジェクト
- 二番館建設委員会
- 花どけい編集委員会
- 交流会企画委員会
- 防災委員会

◆メンバー構成◆

2015. 3. 31 現在

20代	1名	0.8%
30代	8名	6.3%
40代	39名	31.0%
50代	34名	27.0%
60代	34名	27.0%
70代	9名	7.1%
80代	1名	0.8%
計	126名	

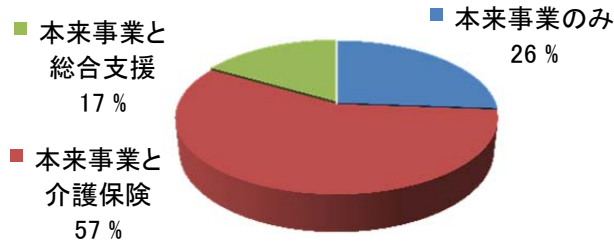
23年間の事業高推移



ご利用者 分布

(2015年3月)

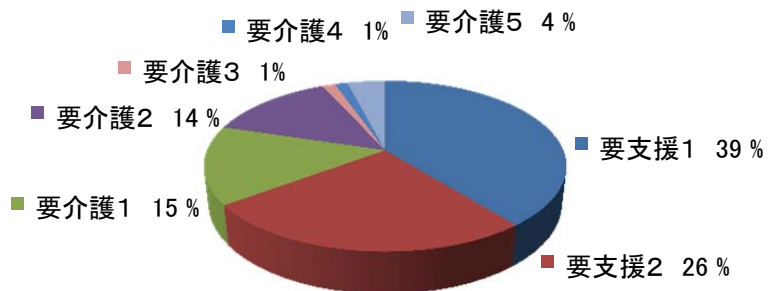
訪問介護(本来事業)



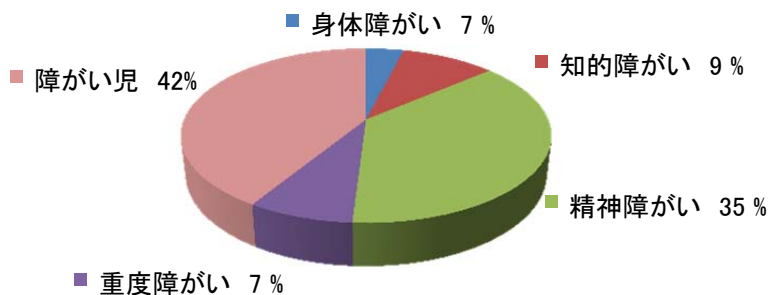
年齢	%
40歳代	8%
60歳代	15%
70歳代	46%
80歳代	31%

訪問介護(介護保険)

年齢	%
40歳代	3%
50歳代	3%
60歳代	7%
70歳代	23%
80歳代	51%
90歳代	13%



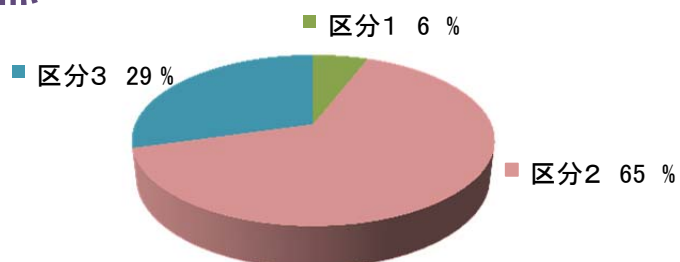
訪問介護(障がい者総合支援)



年齢	%
児童	14%
10歳代	28%
20歳代	5%
30歳代	7%
40歳代	25%
50歳代	9%
60歳代	9%
70歳代	3%

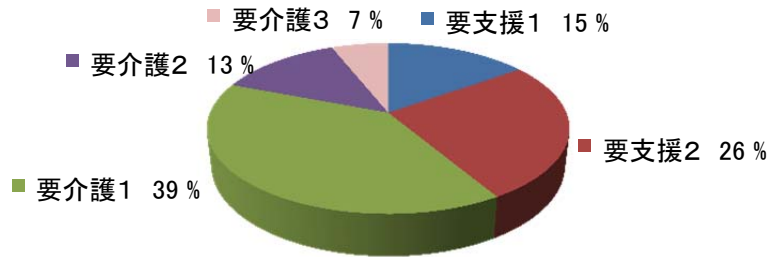
障がい者グループホーム

年齢	%
20歳代	12%
30歳代	18%
40歳代	29%
50歳代	35%
60歳代	6%

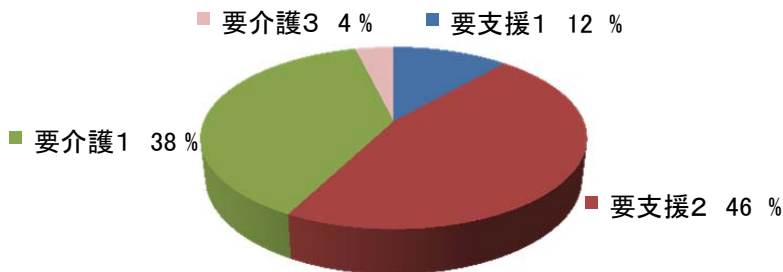


居宅介護支援

年齢	%
50歳代	1%
60歳代	4%
70歳代	22%
80歳代	57%
90歳代	16%



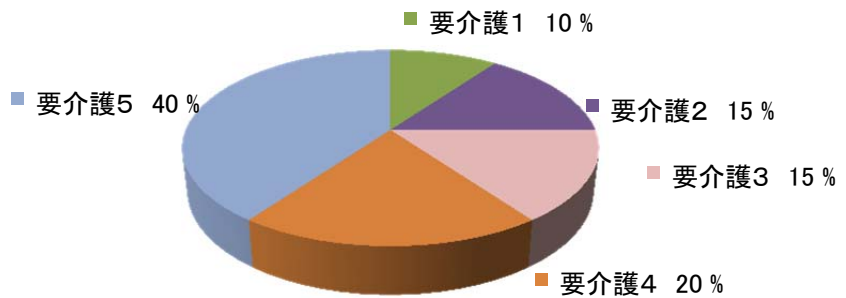
通所介護(デイハウス菜の花)



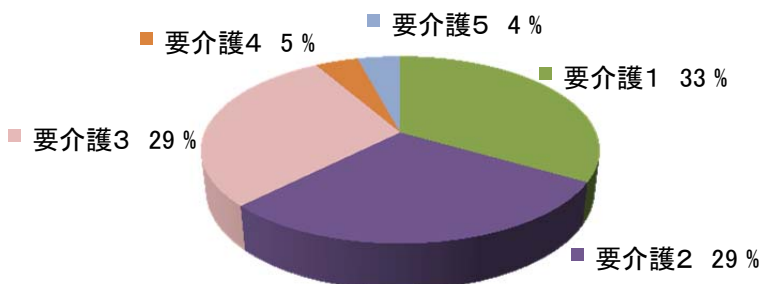
年齢	%
70歳代	4%
80歳代	58%
90歳代	38%

看護小規模多機能型居宅介護(しがらきの湯)

年齢	%
50歳代	5%
60歳代	5%
70歳代	15%
80歳代	25%
90歳代	50%



小規模多機能型居宅介護(藤の花)



年齢	%
60歳代	4%
70歳代	12%
80歳代	42%
90歳代	42%

2014年度 全体研修・部門別研修

		月 日	名 称	
全体研修	内部研修	通年	新入会研修	
		6月14日	接遇について	
		8月26日	認知症サポーター養成講座	
		9月6日	竹内先生の介護講座	
		9月13日	法令遵守	
		9月16日～10月14日 (全6回)	スキルアップ研修	
		10月10日	個人情報・プライバシーの重要性	
		11月15日	公開医療講座湘南中央病院奥野Dr.「緩和ケア 痛みを和らげるために」	
		11月21日	藤・すみれ共催宇多川久美子氏「感食・快歩 元気に！健康に！」	
		11月28日～12月11日 (全5回)	理事長と語る会	
		12月6日	せっけん講習会	
		2月7日	救命救急講習	
		2月23,24,27日	介護福祉士実技試験受験講習	
		3月14日	就業規則について	
		外部研修	6月5日	小規模多機能型居宅介護のケアの視点
	8月15日		事故発生緊急時対応・非常災害時対応	
	10月2日,9日		ノロウイルス等感染症研修会	
	10月29日		地域包括における小規模多機能型居宅介護の役割	
	10月31日		在宅医療研究会・地域包括ケアにおける医療と介護の連携	
	1月14日		変わらない人を変える人へ誘導する動機づけ面接法	
	1月17日		チームで支える小規模多機能型居宅介護 PT.OT.Ns.SW.PSWの視点から	
	3月26日		藤沢市介護報酬改正説明会	
	部門別研修	ぐるーぷ 藤ホームヘルプ	4月～3月(12回)	ヘルパー会議研修「総合支援法、介護保険、本来事業ケアのヒヤリハット事例検討」他
			4月26,27日	同行援護従事者養成研修(応用過程)
			5月7,9,12日	同行援護従事者養成研修(一般過程)
			7月3日	ホームヘルプ2014年度新人フォローアップ研修
			9月5,6日	同行援護従事者養成研修(応用過程)
11月7,14日			サービス提供責任者初任者研修	
12月21日			「思わず笑顔の研修会」	
2月16,20日			サービス提供責任者初任者研修	
藤の花		4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「感染発生の事例検討と予防及びまん延の防止について」他	
		6月7日	市民参加による生活支援サービスを推進するために	
		2月25日	平成27年度介護保険改定について	
一番館		4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「感染発生の事例検討と予防及びまん延の防止について」他	
		10月29日	高齢者の権利擁護に関する研修プログラム	
きしが湯		4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「感染発生の事例検討と予防及びまん延の防止について」他	
		11月11日	複合型サービス事業所開設・運営セミナー	

		月 日	名 称
部門別研修	菜の花	4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「感染発生の事例検討と予防及びまん延の防止について」他
		10月9日	介護サービス情報公表制度における研修
	ぐるーぶ藤ケアマネジメント	4月～3月(12回)	ミーティング研修「医療連携について」他
		5月23日	介護保険認定調査員新任研修
		6月5日	指定介護保険事業者新規セミナー
		7月19日	ベネッセ医療講座
		7月24日	介護支援専門員新任者研修
		7月24日	住宅改修の理由書作成のポイント
		7月25日～12月12日	クローバーホスピタル医療講座(4回)
		9月3日	障がいサービスについて
		9月16日,10月24日	介護支援専門員資質向上研修
		10月16日	「居宅介護支援事業所と福祉用具貸与事業者のあるべき連携の在り方」
		10月28日	「在宅で過ごす神経難病患者との関わり方」
		10月29日	「介護保険認定調査員フォローアップ研修」
		11月7日	課題整理総括表の活用法と考え方
		1月23日	生活援助の考え方
		1月27日	成年後見について
	訪問看護ぐるーぶ藤	4月～3月(12回)	訪問看護ミーティング研修「安全対策」他
		4月15日	輸液の基本的な考え方
		7月7日	グリーンケア「たいせつな人を亡くした悲しみをいやすために」
		7月19日	緩和ケアにおける基本的日常生活援助の重要性
		8月1日	緩和ケア「いつでもどこでも活用できる症状薬剤を知り尽くそう」
		11月10日	ガッテン流！行動変容をめざしたプレゼン技法
		11月15日	認知症の人とその家族を支援するために
		12月2日	医療・在宅で役立つ呼吸の管理、呼吸リハビリテーション実技編
		12月10日	ロコモティブシンドロームの正しい理解と効果が上がる指導方法
	藤が岡の家・本藤沢の家	4月～3月(12回)	家ミーティング研修「総合支援法について」他
		9月26日	藤沢市住まいと暮らし連絡会主催「住まいの職員研修」
		10月9日	湘南西部圏域障害者グループホーム等職員研修「行動障害へのアプローチ」
		11月20日	藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会研修「精神障がい者の成年後見制度」
		2月10日	福祉施設におけるリスクマネジメント
		2月26日	知的障害者の方のお金をめぐる支援
		3月3日	グループホームで暮らすこと

		月 日	名 称
部門別研修	計画サポート ぐるーぶ藤	6月23日	発達障害にかかるアセスメント～医療の見立てから～
		7月10日～8月29日	KCN主催「神奈川県相談支援従事者初任者研修」
		7月10日～10月31日	KCN主催「神奈川県相談支援従事者初任者研修」
		10月25日	KCN主催「神奈川県相談支援従事者養成・確保推進研修」
		10月28日	湘南東部障害保健福祉圏域ナビゲーションセンター主催「生活困窮者自立支援法とは」
		11月8日	KCN主催「相談支援の実践と計画作成のポイント」
		11月10日	藤沢病院主催「地域協同会議」
		1月31日	藤沢基幹相談支援センターえぼめいく主催「計画相談事例検討会」
		3月16日	計画相談事例検討会
	厨房	4月～3月(6回)	スタッフ会議研修「食事形態について」他
		5月15日,6月12日	食品衛生責任者講習会
		5月20日	これからの見据えた在宅支援研修プロジェクト「食を支える」
	事務局	5月12日	年度初めの確認とエクセルの研修、プリンターの扱いについて
		7月14日	プリンターの2色印刷について
		9月8日	処遇改善のお知らせ印刷方法の共有、健康診断費用の部門配分方法の共有他
		11月17日	業務遂行の再確認と業務の改善点の検討
		1月26日	記録書のチェック、まるだいの売り上げの処理について他
		2月20日,21日	市民協全国研修in浜松
		3月16日	2014年度の振り返りと次年度の確認

年間活動一覧

2014年4月～2015年3月

月	日	内部活動	日	研修、学習	日	外部活動
4月	1	安全衛生委員会設置、厨房ミーティング	15	「輸液の基本的な考え方～誰にどんな輸液をするのか」	10	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	4	第1回運営会議			12	～13 被災地訪問（花見山公園花見ツアー）
	7	ホームヘルプミーティング、訪看ミーティング			14	神奈川県小規模多機能型居宅介護連絡会
	9	部門代表会議			23	藤沢市訪問看護ステーション連絡協議会
	10	花どけいNo.73発行			24	市民福祉団体全国協議会（市民協）常務理事会
	12	第1回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議			24	藤沢市市民活動推進委員会
	16	臨時部門代表会議			24	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	17	第1回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議			25	民間介護事業推進委員会
	17	税理士打合せ			28	コンフォール藤沢自治会総会
	18	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	18	しがらきの湯リーダー会議				
	21	厨房会議				
	22	藤が岡の家食事会（毎月1回開催）				
	23	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	24	交流会企画委員会、ケアマネミーティング、計画サポートミーティング				
	28	訪看ミーティング、厨房ミーティング				
5月	1	藤の花リーダー会議	8	集団指導講習会（訪問介護）	8	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	2	第2回運営会議	23	集団指導講習会（障害サービス）	9	SGセミナー 講師
	7	部門代表会議	29	集団指導講習会（訪問看護）		「介護保険改正後の展望と市民事業運営」
	8	地域ささえあいセンター「ヨロシクまるだい」開設委員会	30	集団指導講習会（通所介護・有料老人ホーム）	14	藤沢市介護保険事業所連絡会総会
	10	第2回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	15	保健所食品衛生講習会	15	慶應大学SFC「ソーシャルイノベーション」講師
	12	2013年度監査	20	介護食研修	15	藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会
	12	事務局会議			17	NPO法人昇の会総会
	14	研修プロジェクト			18	藤沢市市民自治推進会議
	16	二番館建設委員会			19	介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定委員会
	16	しがらきの湯ミーティング			20	藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会
	19	計画サポートミーティング			20	江戸川人生大学 講師
	23	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング			22	民間介護事業推進委員会
	25	第10回（通算第22回）通常総会			22	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	25	第1回理事会			24	「はせさんず」座談会
	27	ケアマネミーティング			28	～29「地域福祉サポートちた（愛知）総会」講演
	28	三部門合同ミーティング			31	～6/1「新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム（大分）」
6月	2	訪看ミーティング、厨房ミーティング	5	指定介護保険事業者新規セミナー（主催：神奈川県保健福祉局）	4	NPOインターンシッププログラム2014受入団体説明会
	6	第3回運営会議	5	神奈川県小規模多機能型居宅介護連絡会研修会	7	市民協総会
	9	ホームヘルプミーティング	12	食品衛生責任者講習会	9	民間介護事業推進委員会
	10	二番館建設委員会	23	発達障害にかかるアセスメント～医療の見立てから～	12	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	11	部門代表会議	27	「グリーンケア講演」主催：藤沢市における在宅医療を考える会	14	篠原湘南クリニック25周年記念式典
	14	第3回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議			16	「地域協同会議」主催：藤沢病院
	16	しがらきの湯・藤が岡の家合同夜間避難訓練			20	藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会
	18	厨房会議			20	全国在宅介護協会・懇親会
	19	第2回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議			24	民間介護事業推進委員会
	19	「ヨロシクまるだい」設計打合せ			24	「先輩社会事業家のビジネスモデルを学ぶ」
	20	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				第30回『社会事業家100人インタビュー』講師
	20	しがらきの湯リーダー会議			25	インターンシップ生 受入説明会
	23	第2回理事会			26	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	25	三部門合同ミーティング			28	「ゆうちょ相続セミナー」講師
	26	ケアマネミーティング			30	「ナルク東京研修会」講師
	27	税理士打合せ				
	28	第1回交流会「鎌倉妙本寺写経・イタリアランチ」				
	30	厨房ミーティング				
7月	1	安全衛生委員会	3	ホームヘルプ2014年度新人フォローアップ研修	3	市民協常務理事会
	1	「ヨロシクまるだい」設計打合せ（23）		主催：ぐるーぶ藤研修プロジェクト（以下研修PJと記す）	10	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	2	交流会企画委員会	10	相談支援従事者初任者研修	10	藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会
	3	藤の花リーダー会議	11	相談支援従事者初任者研修	15	新地域支援構想会議
	4	第4回運営会議	19	医療セミナー「動脈硬化と心疾患」主催：ベネッセ	22	民間介護事業推進委員会
	7	ホームヘルプミーティング	21	「緩和ケアにおける基本的日常生活援助の重要性」	23	藤沢市訪問看護ステーション連絡協議会
	7	訪看ミーティング		「緩和医療における口腔ケアの実践」	24	介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定委員会
	9	部門代表会議		主催：藤沢市における在宅医療を考える会	24	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	10	花どけいNo.74発行	24	介護支援専門員新任研修	30	市民協老健事業委員会
	12	第4回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議		住宅改修の理由書・軽度者の福祉用具貸与と確認依頼書作成のポイント		
	14	事務局会議	25	「在宅での看取り・施設での看取り・病院での看取り」		
	16	しがらきの湯リーダー会議				
	23	三部門合同ミーティング				
	25	税理士打合せ				
	25	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	28	厨房ミーティング				
	31	ケアマネミーティング・研修				
8月	1	第5回運営会議	1	「いつでもどこでも活用できるがんの症状緩和の薬剤を知り尽くそう」	4	地域支援事業を考えるフォーラム
	4	ホームヘルプミーティング、訪看ミーティング	6	相談支援従事者初任者研修	5	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	6	部門代表会議	8	相談支援従事者初任者研修	6	「かながわコミュニティカレッジ」講師
	7	藤の花リーダー会議	27	相談支援従事者初任者研修	9	市民協ブロック会議（東京）
	9	第5回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	28	相談支援従事者初任者研修	11	藤沢市NPO法人の集い
	12	「ヨロシクまるだい」打合せ（15・18・28）	29	相談支援従事者初任者研修	14	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	20	厨房会議	15	「事故発生、緊急時対応、非常災害対応」主催：藤沢市連絡会	14	「地域ささえあいセンター」プレゼンテーション
	20	しがらきの湯リーダー会議	22	「クローバーホスピタル（地域包括ケア病棟）について	18	市民協ソフト打合せ（19）
	22	「ヨロシクまるだい」開設委員会・コーディネーター打合せ（23）			21	藤沢せっけんまつり
	22	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング			21	介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定委員会
	25	税理士打合せ			23	コンフォール藤沢夏まつり
	25	厨房ミーティング			24	～25市民協ブロック会議（名古屋）
	27	三部門合同ミーティング			26	「認知症サポーター養成講座」講師
	28	第3回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議			26	民間介護事業推進委員会
	28	ケアマネミーティング・研修			28	藤沢市住まいと暮らし連絡会
9月	1	第6回運営会議	3	「障がい福祉サービスについて」主催：藤沢市居宅連絡協議会	2	民間介護事業推進委員会
	3	「ヨロシクまるだい」打合せ（12）	4	生活支援コーディネーターにかかる中央研修	11	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	8	訪看ミーティング	5	生活支援コーディネーターにかかる中央研修	11	市民協常務理事会および厚生労働省との懇談
	8	ホームヘルプミーティング	5	同行援護従事者養成研修 応用課程	16	藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会
	8	事務局会議	6	同行援護従事者養成研修 応用課程	17	神奈川県小規模多機能型居宅介護連絡会
	10	部門代表会議	6	第22回竹内先生介護講座 主催：研修PJ	18	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	12	「まるだいで食堂スタッフ」顔合わせ		「基本ボディメカニクス・移乗バリエーション」	19	～20「佐賀宅老所連絡会」講師
	13	第6回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	12	「クローバーホスピタル（在宅療養支援診療所）について」	22	ふじさわ福祉NPO連絡会
	17	しがらきの湯リーダー会議	16	「在宅ターミナルの実現にむけて」主催：藤沢市事業所連絡会	25	民間介護事業推進委員会
	19	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング	16	～10/14スキルアップ研修 主催：研修PJ		
	24	三部門合同ミーティング	9/16	訪問介護の基礎 共感的理解		
	25	ケアマネミーティング・研修	9/22	自立を引き出す歩行・移乗・車いす		
	26	税理士打合せ	9/26	Let's調理 糖尿病食		
	29	第3回理事会	10/01	清拭・陰部洗浄		
	29	訪看ミーティング	10/09	認知症最前線を知る		
	30	「ヨロシクまるだい」開設委員会	10/14	らくらく楽しい更衣介助		
			26	住まいの職員研修会		

10月	<ul style="list-style-type: none"> 1 「ヨロシク」まるだいい オープン式典 2 藤の花リーダー会議 3 第7回運営会議 6 ホームヘルプミーティング、厨房ミーティング 8 部門代表会議 10 花どけいNo75発行 11 第7回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 15 「ヨロシク」まるだいい 生活支援コーディネーター会議 15 厨房会議、しがらきリーダー会 18 第2回交流会「屋形船 横浜遊覧」 22 三部門合同ミーティング 24 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 25 藤の花家族会 27 税理士打合せ、訪看ミーティング 29 厨房ミーティング 30 第4回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議 30 ケアマネミーティング・研修 31 第8回運営会議 	<ul style="list-style-type: none"> 7 ノロウイルス等感染症研修会 8 ノロウイルス等感染症研修会 9 障がい者グループホーム職員研修「行動障害へのアプローチ」 16 「在宅介護支援事業所と福祉用具貸与事業者のあるべき連携の在り方」 主催：日本福祉用具協会 23 藤沢市小規模多機能型居宅介護セミナー 23 「認知症研修」ベルギー大使館 24 「在宅ターミナルの実現に向けて」主催：藤沢市事業所連絡会 27 藤沢市小規模多機能型居宅介護セミナー 28 「在宅で過ごす神経難病患者との関わり方」主催：藤沢市保健予防課 28 「生活困窮者自立支援法とは」主催：障がい者東部圏域ナビゲーションセンター 29 「介護保険認定調査員フォローアップ研修」主催：藤沢市介護保険課 31 「在宅医療研究会・地域包括ケアにおける医療と介護の連携」 	<ul style="list-style-type: none"> 4 田中尚樹様出版記念＋生前葬 9 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 9 藤沢市市民自治推進会議 10 民間介護事業推進委員会 10 NPO法人窓の会「住みやすい地域を支える」講師 13 ～14南三陸「未希の家」訪問 17 市民協三役会議 17 民間介護事業推進委員会 20 介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定委員会 22 藤沢市訪問看護ステーション連絡協議会 23 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 23 藤沢市住まいと暮らし連絡会 27 ふじさわ福祉NPO連絡会 28 民間介護事業推進委員会 29 実結「ほっと舎」開所式 31 「在宅医療研究会・地域包括ケアにおける医療と介護の連携」講師
11月	<ul style="list-style-type: none"> 2 しがらき家族会 3 ホームヘルプミーティング 5 部門代表会議 8 第8回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 12 「ヨロシク」まるだいい 生活支援コーディネーター会議 17 事務局会議 19 しがらきの湯リーダー会議 21 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 22 菜の花家族会 26 三部門合同ミーティング 27 ケアマネミーティング・研修 28 税理士打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> 7 「課題整理総括表の活用と考え方」 主催：市居宅介護支援事業所連絡協議会 10 保健師職能委員会「ガッテン流 やる気にさせる行動変容」 15 神奈川県看護協会「認知症対応向上研修」 15 公開医療講座「緩和ケア」講師：奥野Dr 主催：研修PJ 17 まるだいい新規許可取得者（飲食）講習会 21 宇多川久美子先生講座「感食・快歩で 元気に！健康に！」 主催：ボランティアすみれ 共催：ぐるーぶ藤 28 理事長と語る会 主催：研修PJ 	<ul style="list-style-type: none"> 4 民間介護事業推進委員会（17） 4 市民協三役会議 10 地域協同会議 主催：藤沢病院 17 民間介護事業推進委員会 17 ふじさわ福祉NPO連絡会 18 藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会 18 横浜国立大学 講師 20 藤沢市障がい者地域生活支援連絡会 27 市民協常務理事会 27 藤沢市住まいと暮らし連絡会 28 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 29 藤沢市市民自治推進会議
12月	<ul style="list-style-type: none"> 1 訪看ミーティング 5 第9回運営会議 8 ホームヘルプミーティング 8 厨房ミーティング 10 部門代表会議 10 「ヨロシク」まるだいい 生活支援コーディネーター会議 10 花どけいNo.76発行 12 有償ボランティア食事会 13 第9回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 15 第4回理事会 17 厨房会議、しがらきの湯リーダー会議 18 第5回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議 19 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 22 税理士打合せ 24 三部門合同ミーティング 24 計画サポートミーティング 25 ケアマネミーティング・研修 29 第10回運営会議 30 厨房ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> 1 理事長と語る会 主催：研修PJ 3 理事長と語る会 主催：研修PJ 9 理事長と語る会 主催：研修PJ 11 理事長と語る会 主催：研修PJ 2 医療・在宅で役立つ呼吸の管理、呼吸リハビリテーション実技編 3 「高齢者の権利擁護」主催：神奈川県 6 せっけん講習会 講師：シャボン湘南 10 藤沢市介護予防支援事業研修会 主催：藤沢市 「ロコモティブシンドロームの正しい理解と効果が上がる指導方法」 12 「リハビリテーションについて」主催：クローバーホスピタル 	<ul style="list-style-type: none"> 2 市民協常務理事会 11 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 17 民間介護事業推進委員会 18 介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定委員会 18 藤沢市住まいと暮らし連絡会 19 ふじさわ福祉NPO連絡会
1月	<ul style="list-style-type: none"> 5 ホームヘルプミーティング 5 訪看ミーティング 7 部門代表会議 10 第10回運営報告会・ヘルパー会議 10 第3回交流会「新年会」 10 花どけいNo.76発行 15 安全衛生委員会 16 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 21 しがらきの湯リーダー会議 26 事務局会議 27 「ヨロシク」まるだいい 生活支援コーディネーター会議 29 ケアマネミーティング・研修 30 税理士打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> 10 市民協「次世代リーダー研修」 11 市民協「次世代リーダー研修」 14 「変わらない人を変える人へ誘導する動機づけ面接法」 主催：神奈川県精神保健福祉会 17 全国小規模多機能型居宅介護連絡会研修 「チームで支える小規模多機能、PT、OT、Ns、SW、PSWの視点から」 23 「生活援助の考え方」主催：居宅介護支援事業所連絡協議会 27 「成年後見について」主催：社協・安心センター 31 ふじさわ基幹相談支援センターえぼめいく研修 	<ul style="list-style-type: none"> 5 藤沢市賀詞交歓会 7 民間介護事業推進委員会 8 「ガイドライン説明会」主催：シルバーサービス振興会 11 コンフォール藤沢自治会「新春のつどい」 15 合同新年会 主催：居宅介護支援事業所連絡協議会 19 ふじさわ福祉NPO連絡会 19 市民協三役会議 20 藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会 22 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 22 藤沢市住まいと暮らし連絡会 28 市民協常務理事会 29 藤沢市市民自治推進会議
2月	<ul style="list-style-type: none"> 2 訪看ミーティング、三部門合同ミーティング 4 厨房ミーティング 6 第11回運営会議 9 ホームヘルプミーティング 11 部門代表会議（18、25） 12 藤の花リーダー会議 14 第11回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 16 厨房会議 19 第6回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議 20 税理士打合せ 20 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 23 研修プロジェクト 23 しがらきの湯リーダー会議 26 ケアマネミーティング・研修 26 三部門合同ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> 7 救命救急研修 主催：研修PJ 10 「福祉施設におけるリスクマネジメント」主催：藤沢福祉法人協議会 16 サービス提供責任者初任者研修 20 サービス提供責任者初任者研修 20～21 市民協全国研修in浜松 25 神奈川県小規模多機能型居宅介護連絡会研修 「平成27年度介護保険改定について」 26 「知的障害者の方のお金をめぐる支援」主催：すまくら・ゆうちょ 28 シンポジウム「介護保険改正と生活支援コーディネーターの役割」 	<ul style="list-style-type: none"> 3 民間介護事業推進委員会 10 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 12 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 12 日本NPOセンター講師 13 ワーカーズ・コレクティブ実結 講師 16 ふじさわ福祉NPO連絡会 17 神奈川県社協 講師 「高齢者、障がい者、子供たち、誰もが利用しやすい・・・」 25 神奈川県小規模多機能型居宅介護連絡会 26 介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定委員会 26 市民協三役会議 26 藤沢市住まいと暮らし連絡会
3月	<ul style="list-style-type: none"> 2 厨房ミーティング 4 部門代表会議（11、18、25） 6 第12回運営会議 9 ホームヘルプミーティング 10 訪看ミーティング 10 「ヨロシク」まるだいい 生活支援コーディネーター会議 14 第12回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 16 事務局会議 18 臨時運営会議 19 しがらきの湯リーダー会議 20 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 26 ケアマネミーティング・研修 26 三部門合同ミーティング 27 税理士打合せ 30 第5回理事会 	<ul style="list-style-type: none"> 3 「グループホームで暮らすということ」 主催：藤沢市障がい者グループホーム等サポートセンター 16 「計画相談事例検討会」 主催：ふじさわ基幹相談支援センターえぼめいく 26 介護報酬改定説明会 主催：藤沢市介護保険課 	<ul style="list-style-type: none"> 2 日本サードセクター講師「女性の起業・働き方」 4 民間介護事業推進委員会 10 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 12 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 11 藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会 16 ふじさわ福祉NPO連絡会 19 藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡協議会 19 藤沢市住まいと暮らし連絡会 20 市民協常務理事会 25 小地域ケア会議 26 介護プロフェッショナルキャリア段位レベル認定委員会

一番館 災害時「駆けつけ」マップ

地図の範囲外のメンバー

- 鶴沼海岸 4名
- 鶴沼松が岡 1名
- 辻堂東海岸 3名
- 辻堂西海岸 2名
- 辻堂 1名
- 円行 2名
- 下土棚 1名
- 亀井野 2名
- 天神町 1名
- 石川 2名
- 遠藤 1名
- 大庭 1名
- 鎌倉市 3名
- 相模原市 1名
- 茅ヶ崎市 3名
- 平塚市 1名

